

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530690

研究課題名（和文） 1940年代日本における公立高等教育機関増設過程の研究

研究課題名（英文） A Historical Study on the Process of Increase of Public Institution for Higher Education

研究代表者

吉川 卓治（YOSHIKAWA TAKUJI）

名古屋大学・教育発達科学研究科・准教授

研究者番号：50230694

研究代表者の専門分野：教育史

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：教育史，公立専門学校，公立大学，地方公共団体，総力戦体制，戦後改革

1. 研究計画の概要

本研究は、戦時下から戦後改革期を含む1940年代において、地方公共団体が設置する公立大学および公立専門学校という公立高等教育機関がなぜ一貫して増加傾向にあったのか、その要因を設置認可申請書類等の政府文書、地方議会議事録、地方公文書館所蔵文書、地方新聞などを史料として究明することを目的としている。

2. 研究の進捗状況

これまで国立国会図書館や国立公文書館などにおいて政府の公文書や全国新聞、関係文献を調査・収集し、また大阪府、大阪市、秋田県、三重県、京都府、高知県、和歌山県、奈良県、広島県、愛知県、名古屋市、山梨県、神奈川県、横浜市の公立図書館や公文書館、議会図書室を訪問して、地方議会の議事速記録、公文書、地方新聞などの史料を調査・収集し、その整理と分析を進めてきた。

(1)1940年代に設置された公立高等教育機関について、各年度における学校種別および学科毎に量的傾向を整理し、その結果、とりわけ医学系の専門学校が1940年代前半にもっとも増加が激しく特徴的な傾向を示していることを明らかにし、公立高等教育機関全体を代表するものと位置づけた。
(2)熊本県における公立医科大学の事例を取り上げて、公立大学の財政的基盤をめぐって、公立大学の経営のあり方や「大学自治」に対する考え方の違い、そこにおける政党勢力の影響力の問題、それが最終的にいかなる帰結をもたらしたかといったことなど、大学と地域との関係にかかわる基本的な論点を明らかにした。

(3)この時期増設されたすべて（20校）の公立医学専門学校の「設置認可申請書」を分析し、従来、1939年に帝国大学や官立医科大学に設置された臨時附属医学専門部との連続性において捉えられて公立医学専門学校の設置にあたって、地方公共団体が掲げたもっとも基本的な設置理由が軍医養成という国家的なものではなく、地域の医師不足への対応にあったことを明らかにした。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。昨年度、教育史学会第53回大会を勤務校で開催しその大会準備委員会事務局長を務めるなど、予定外の公務が入ったため、調査計画の若干の修正を余儀なくされたものの、大きく遅れることなく研究を進めている。

4. 今後の研究の推進方策

(1)2010年度は研究計画の最終年度に当たるため、まだ収集が進んでいない北海道、徳島、兵庫、山口、福岡、岐阜の地方議会議事速記録や地方新聞など地方史料を積極的に収集する。これまで収集してきた府県会議事速記録については入手が困難なものもあることから、重要なものについては、できるかぎり復刻してみたい。

(2)1945年から1950年までに設置された公立高等教育機関のうち特徴的なものについて、設置認可申請書を収集する。

(3)これまで収集した史料の分析から「公立高等教育機関」観を析出し、その社会的・財政的条件を踏まえて類型化して、比較検討を行なう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

①吉川卓治「1940年代前半における公立医学専門学校^①の急増―設置認可申請書の検討を通して―」『教育史研究室年報』第15号、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室、2010年2月、55～70ページ、査読無。

②吉川卓治「熊本医科大学の官立移管―県財政窮乏下の公立大学経営をめぐる対立と帰結―」『教育史研究室年報』第14号、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室、2008年12月、63～87ページ、査読無。

〔学会発表〕(計1件)

①吉川卓治「1910年代初頭の高等教育政策における方針転換」教育史学会第52回大会、2008年9月20日、青山学院大学。